

令和4年度 香南市立保育所評価報告書

香南市立吉川みどり保育所

経営理念		<p>【保育目標】 あふれる笑顔 ともだち大好き みどりっ子 【経営目標】 豊かな経験や体験を通して、生きる力の基礎を培う保育所 <子ども像> ○あいさつができる子ども ○あかるく元気な子ども ○思いやりのある子ども ○最後までやりぬく子ども ○仲間と協力しあう子ども <保育所像> ○一人一人の子どもを大切に作る保育所 ○基本的な生活習慣を身につけ、しなやかでたくましい子どもが育つ保育所 ○夢を育み、子どもの笑顔が輝く保育所 ○保護者や地域から信頼される保育所 ○保小中高の連携を大切に作る保育所 ○地域を理解し、保護者とともに子育てをする保育所 <保育士像> ○子どもとの信頼関係を大切に作る保育士 ○保護者より良い協力関係を築く保育士 ○意欲を育む環境を考える保育士 ○チームワークを大切に作る保育士 ○豊かな人権感覚を身につけた保育士 ○専門性の向上に努める保育士</p>					
		中期経営目標	短期経営目標(評価項目)	自己評価 達成状況	保育所関係者評価 考察	改善策等	
適正な保育所運営	○職務分担が適切に機能し、子どもたちのために職員が互いに協働する保育所を構築する。	① 職員一人一人が報告・連絡・相談に努め、協力して保育にあたる	毎日の昼礼で子どもや保護者の様子を共有することで園全体で保育に取り組めた。また、職員同士、保育の悩みを相談したり、行事の準備等協力体制が整い、報告連絡相談が定着したことは成果である。	A	職員の協力体制や報告・連絡・相談がしっかりとできており、園全体で子どもや保護者の様子を把握し保育にあたることができていた。	A	昼礼や週案の会、カリキュラム会を継続して行い、子どもや保護者の様子を園全体で共有し、職員間の連携を図りながら協力して保育にあたる。
		② 保育所の安全計画や防災計画等を見直すなど安全対策を推進する	年間計画に沿って、毎月実施案を作成し避難訓練を実施することができた。実施後の反省点を意識して取り組むことで、職員一人一人が臨機応変に行動できるようになってきた。また、消防署への通報訓練や小学校との合同避難訓練を地域の消防団や駐在の協力を得て実施できた。	B	毎月の避難訓練や地域と協力しての避難訓練がしっかりと実施できている。いざという時にしっかりと対応できるよう、油断なく引き続き安全対策を行ってほしい。	B	より安全により迅速に避難できるように避難訓練や日々の安全対策を継続して行う。また、様々な想定を出し合い、一人一人の職員が臨機応変に行動できるように取り組みを進める。
充実した保育内容	○保育指針に沿って乳幼児の発達に即した保育を展開し望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。	① 保育所経営計画を共通認識し、保育目標達成に向けて、保育の振り返りを行う	週案は子どもの姿を基に評価・反省をし、見直しをして次週につなげることができた。週案の提出率は100%であり「ねらい」の達成率は園全体を平均すると65%以上である。	B	週案は担任の意識につながるものである。達成率が65%で評価はBであるが、保護者アンケートではそれ以上の高評価を得ていると感じる。	B	引き続き、保育目標達成に向け、子どもの姿をもとに週案の作成を行い、次週につながる評価・反省を行う。「ねらい」は子どもの姿に保育者の願を込めて設定することを確実に行うようにする。
		② 一人一人の発達を理解し、豊かな経験が積み重ねられるように環境を整える	子どもの年齢や興味に応じた玩具を準備したり、保育室の環境を整えることで子どもが興味をもってやってみようとしたり、遊んだ後の片づけをすすんでしようとする姿が見られ始めた。また、年長児はやってみたいことを保育者に伝え、保育者と一緒に遊びの環境を整えることが増えてきた。	B	子どもたちが、遊びの中で季節を感じたり、理知的な学びがあったりと色々な経験が出来るように環境が整えられている。また、その環境の中でじっくりと遊びを楽しんでいる子どもの姿がある。	A	子どもの発達や興味関心に応じた遊びや生活の環境を整え、1人1人の子どもが、豊かな経験を積み重ねられるようにする。
		③ 生活と遊びを通して、子どもが自ら意欲をもって食に関わる体験を展開する	栽培物の世話をすることで、その成長や変化に気づき、収穫することの喜びを感じることができた。また、乳児園庭で土のうでサツマイモを育てたことで、低年齢児も身近でその成長を見ることができ、収穫の喜びを味わえた。	A	栽培物が季節ごとに充実している。栽培物の色や形の変化を実際に見たり、育ちが悪かったり、鳥に食べられたりするなかでの収穫の喜びも味わえている。	A	乳児、幼児ともに子どもが生活と遊びの中で、栽培物の成長を身近に感じられる栽培活動の環境を整え、収穫の喜びが味わえるように継続して取り組む。
信頼される保育所	○保護者や地域に開かれた保育所づくりに努め、信頼される保育所を確立する。	① 保護者や地域に対して積極的に情報発信を行い、開かれた園づくりに努める	クラス便りで、子どもたちの保育所での様子や経験していることだけでなく、発達の視点や保育の意図も加えて発信することができた。また、写真を多く用いたり子どものつぶやき等を入れたりして保護者が見やすい工夫にも取り組むことができた。	B	行事等のドキュメント写真が出されたり、毎日の連絡帳が丁寧に書かれていて子どもの保育所での様子がよくわかる。保護者アンケートでも良い評価を得ている。数値目標があるとわかりやすいのではないかと。Aに近いB評価である。	B	発達の視点や保育の意図を加えた便りやドキュメントの掲示を継続して行う。また、保護者への挨拶や声掛けを積極的に話しやすい雰囲気づくりに努める。
		② 保護者の願いや実情を理解し受けとめながら子育ての楽しさを感じてもらえるように努める	登降所時の会話や連絡帳でのやりとりを丁寧に行うことや子育ての悩みや心配事など、保護者の気持ちに寄り添い話をするなかで信頼関係を築き、子どもの成長を共に喜ぶことができた。	B	アンケートの回収率が100%に近く、内容も高評価である。厳しい意見もあるが、保護者の思いを真摯に受け止め改善に努めてほしい。	B	保護者の思いに寄り添い、安心して子どもを預けられるようにする。また、保護者参加の行事を通して、子育ての楽しさを感じられるように進めていく。

【評価基準】 A：十分満足 B：おおむね満足 C：もう少し努力すべき D：大いに努力が必要